

まちづくり会議・意見交換報告（令和5年6月6日）

（グループ③生活基盤・行政）

令和5年度第1回池田町まちづくり会議 5. 総合計画推進管理における意見交換

<出席者>

（池田町商工会）	（鳴海 隆司）
（北洋銀行池田支店）	（元木 実）
（池田町PTA 連合会）	（小澤 篤彦）
（池田町老人クラブ連合会）	（郷司 碩子）
（一般公募委員）	（森尾 今朝博）

池田町：担当管理職（山口総務課長、齋藤町民課長、野澤建設水道課長）
事務局（佐々木企画財政課課長補佐、中山企画統計係主任）

事務局の司会進行により意見交換開始。

<答申書附帯意見について>

事務局）令和2年に策定した第5次総合計画は、6回のまちづくり会議で意見交換を行い策定された。まず147ページに記載されている答申書付帯意見の項目について防災、情報、移住の関係が中心となりますが、進捗報告を行います。
その後質問・意見等ありましたら宜しくお願いいたします。

■答申書付帯意見に関する進捗報告・意見交換

職員 A） R4 防災無線の配布、自主防災組織の活動を行いました。全国各地で大規模災害が起きている。池田町でも平成28年に利別川が氾濫する手前の状況となった。町民の防災意識は高まってきている。旧沖田コンクリートの跡地利用については、防災拠点として協議を進めている。盛り土高台で緊急避難所を計画している。また、昨年より、池田大橋を渡って右に行く避難路の検討もすすめる。地域住民の声を聴いて今年度重点的に進めていく考えである。

委員 A） すでに盛り土している？

職員 A） 現行平らではないので残土を置いている状況。

委員 A） 池田町に道の駅無いか？と聞かれる。

職員 A） 盛り土高台に緊急避難場所と商業施設の計画がある。道の駅プロジェクトで協議を進めている。

委員 B） 数メートルの盛り土をしないと意味がないのでは？

職員 A） 7mくらいの盛り土をしないとだめと認識しているが、今年度防災計画策定を業務委託しその中で検討していく。

委員 B） 業務委託の予算はきまっているのか？

職員 A） 委託予算は決まっている。整備については次年度以降予算処置をしていく。地域住民の声を聴きながらすすめていく。

委員 A） 池田大橋を利別方面へ渡った右側も盛り土している？

職員 A） 3m位盛り土した。国の土地なので国と協議して盛り土した。利別地区の緊急避難所している。国と使い方の協定を結んで維持管理を進めていく。

委員 A） 浸水するシミュレーションを見てみたい。

職員 A） どの川から浸水するのか把握するうえで良い考えと思う。

委員 B） 線状降水帯が発生したときの避難について1人暮らしの年寄りが多く困難な状況となるのではと思う。避難訓練を実施したとしても農家は収穫まで忙しく時間が取れないのでは

と思っている。

- 職員 A) 平成 30 年に一部の地域で池田高校まで避難をやった。今年度は、2 月位に総合体育館への避難訓練を行う予定である。対象は総合体育館が避難場所に指定されている公区となる。
- 委員 A) 中学校の裏の防災倉庫の中には何が入っているのか？
- 委員 B) ブラックアウトの時は、電源が一番困った。
- 職員 A) 防災備品が入っている。発電機大型、中型購入し整備した。
- 委員 B) 孤立したところへの支援物資を速やかに移動できる体制は整っているのか？
- 職員 A) 水害の場合は事前に運ぶことが可能と考えている地震は急にくるので今後の検討課題としたい。
- 委員 B) 津波が河川を遡ってきた場合の影響想定しているか？
- 職員 A) 池田町まで影響受ける認識はもっていないので想定していない。

■移住の関係

- 事務局) 移住施策については 1 3 2 ページに整理している。魅力発信、広報広聴活動 広報紙発行 HP で情報発信を行っている。SNS でタイムリーな情報発信を行っている。令和 4 年度に移住関連の HP、移住ガイドブックを刷新した。町外都市圏の方向けへの PR に力を入れていく。HP 内に移住関連のバナーを貼っている。今回は、職業紹介のところで池田ハローワーク情報をわかりやすく、見やすく作った。移住は成果として見えにくい。仕事での転居なのか池田への移住なのか役場としても掴み切れないところもある。移住関係について皆様にご意見いただきたい。
- 委員 B) 私が移住した時は、池田町住情報ステーションの情報を見た。北海道旅行次いで軽いノリであった。仕事をやる発想はなかった。赤坂建設の赤坂さんと物件を見回った。初めは、富良野、美瑛あたりと考えていたが、建てるところがあまりない、建てる土地の状況が悪かった。そうした中でたまたま池田町を見つけた。トイレ水洗化、町の補助を受けてありがたかった。住情報関係を見ると若い夫婦で子どもがいてというところに来てほしいというのは分かるが、他の町村も補助が充実しているので差別化は出来ないのではないかと。昭栄に住んでいるがまわりの人と関われる良いところに引っ越してきたね。と言われる。
- 事務局) 若い世代に移住支援で 30、40 万と出す市町村あるが、池田町としてはやっていなく、長く住んでいる人、引っ越した人、今まで住んでいる人向けの住宅・土地取得に関する補助を行っている。特にターゲットは決めていない。
- 委員 B) リフォームをセルフでやると対象外。費用もかかるのでそれは悲しいと思う。住宅設備の会社をやっていたので自分で 1 2 月の寒い時期にやった。
- 委員 B) 移住体験住宅の使用状況はどうなっているのか？
- 事務局) 現在 4 戸ある。利別 3 戸、千代田 1 戸。例年 6~10 月までほぼほぼいっぱい。隙間なく埋まっている。しかし、それ以外の期間は使用が少ない。一定程度体験して池田町に住もうとしている人がいる。
- 委員 B) 移住してくる人は仕事がネックではないか。若い世代は所得がないと。産業の方で雇用の創出が重要となると思う。移住してくる人たちはそこで働いた所得で生活の基盤をささげられるかが重要である。
- 委員 A) 利別で賃貸住宅が増えたが、どこで働いている人が入居しているのか？
- 職員 B) 中に入っている人は分からないが、警察、転勤族が住んでいる場合がある。
- 委員 B) 少子高齢化で入って来る人より出ていく人が多いと困る。昔、高田さんと移住者の会を作って意見交換をしていたが、個人情報保護の問題から途切れた。もったいない気がする。移住した人たちの経験を話すと体験入居している人たちも安心して移住に結びつくのではないかと。
- 事務局) 取組できていないので、今後協力をお願いするかもしれない。
- 事務局) 続きまして、第 5 次総合計画 9 6 ページから始まる、政策 1 計画的な土地利用の推進。政策 2 安全安心、情報化の推進。政策 3 生活基盤の整備。政策 4 生活環境の整備について説明を行っていきます。意見交換をお願いいたします。

<計画的な土地利用の推進>

- 委員 C) 池田町で空き家土地が増えている。昔は、空地が売れない場合は役場で引き取り、買取譲渡とあった。今は小さい土地は買い取らないとなっており困っている。除雪の雪置き場が少ない状況なので除雪のスペースとして活用等を検討してはどうか？未利用地の活用方法として可能でないか？
- 職員 C) そういった声があるが、町として必要な土地は寄付を受けたり購入したりしている。なんでもということとは昔から無い。
- 職員 C) 雪の置き場は空地をお願いして対応している。今の意見を聞き雪の置き場として購入を検討するのも良い考えと思った。
- 委員 C) 空地等を防災の観点で使っていくのは良いのではないかと思う。
- 委員 B) 持ち主が分からない土地はあるのか？誰に課税するのか？
- 職員 B) 今のところない。相続人がはっきりしている状況である。届けに来た人、相続人で連絡が取れる人に送付している。
- 職員 A) 負の財産として相続放棄している人もいる。

<安心安全、情報化の推進>

- 職員 A) デジタル田園交付金7割を活用し、今年度からマイナンバーでのコンビニでの住民票、印鑑証明発行を進めていきたい。ニュースでも出ているが、マイナンバーカードでの不備が出ているので、利用する方として不安に思うことがあるか？参考にさせてほしい。
- 委員 B) マイナカードは自治体の入力不手際と報道されている。池田町はあるのか？
- 職員 B) 写真の相違が一件あった。入力等の間違いはない。マイナポイントの使い方に関する質問が多い。
- 職員 B) 保険証のミスは組合の手入力によるものであった。池田町のほうではほとんど問題はない状態。

<生活基盤の整備>

- 職員 C) 河川については、細かいところまで管理できていない。荒れているところは緊急的に復旧している。大きな災害時は国の補助で整備している。施設の老朽化が進んでおり新しく整備できていない状況。
道路についても、老朽化しているところあり。公区要望を聞いて予算を付けて実行している。除雪の要望があるのではないかと認識している。高齢化により、近い将来間口の除雪も対応しなくてはならないと思っている。間口除雪まですると費用が掛かる。早い段階で検討しないといけないと思っている。
交通については、コミバス等都市計画外の人も迎えに来て欲しいとの要望あるが、全体との連携が悪くなるので全ての要望を聞けていない状況。
公園については、草刈りと遊具点検して修繕、入替検討している。都市計画として維持管理のみやっている。今後の検討はまだ出来ていない。今後検討していかなくてはと認識している。
水道下水道については、施設の老朽化が進んでいる。独立採算でいくべきであるが使用者が減っており、一般会計から補助をもらい運用。下水道処理施設が老朽化している。当初人口1万人想定で作っており規模が大きくお金がかかってしまう。
- 委員 A) 清見ヶ丘公園について、老人クラブで話がでた。池田の桜は有名であったが古くなって綺麗でない。少し手入れをしてはどうか？町民で植樹して若い桜の木を受けるなどしてはどうか？
- 職員 C) 手を付けられていない状況。利別小跡地等の利用含め検討していくとなっている。確かに昔と比べると寂しい感じになっている。
- 委員 B) 昭栄の新田牧場は、苗を用意するので植樹に協力してほしいとの取組がある。
- 委員 A) 町民に声かけして植樹した方が良い。

- 委員 C) 街路樹木が腐ったり、切株だけが残っているがなぜか？予算がないのか？
- 職員 C) 現在、街路樹入れ替えていない。
- 委員 C) 歩行者の安全管理から折れてケガするとかあるのである程度管理はしないとだめだと思う。綺麗な道路とそうでないところがある。通りによってはほとんど枯れているところもある。
- 委員 A) 見通し悪くて困るときがある。
- 委員 C) 緑地帯必要か？邪魔くさいと思う。
- 職員 C) 緑地帯として植えている木が、大きくなりすぎているところがある。葉っぱも地域住民の方が清掃しているのが現状。検討が必要と思う
- 委員 B) 街路樹は夏は日をさけて、冬は日があたるようにして剪定しているのではないか。
- 職員 C) 現在は、安全面考えてもあまり見栄えのよいものではなくなっている。
- 委員 C) 清見公園の柏の木は、子供のときからあるものばかり。台風来たら折れてしまう。
- 職員 C) 伐採も検討していかなくてはならない。公園としているので安全を確保しなくてはならないと考えている。
- 委員 C) 木の診断士による定期的な検査はしているのか？
- 職員 C) 定期的にはやっていない。造園業者に頼んで危ないものは伐採している。
- 委員 A) まちづくりの一環で町民のみんなできれいにしませんか？と謳ってやってみてはどうか。役場の職員にだけでなく町民みんなで取り組んだ方が良いと思う。
- 委員 B) 老人クラブという名前が悪い？60代だれもいない。活動できる若い人が入ってきやすくする必要がある。老人クラブという名前を使わなくてはならないものがあるのか。名前のイメージで入りづらい人がいる。
- 職員 A) 決まりはないと思われる。
- 委員 A) 池田町は割とボランティア精神が欠けているのではと思う。
- 委員 C) やっている人はやっているけどやっていない人が多い。
- 委員 B) 十弗川、水路にH鋼入れて土留めしている箇所。入りづらい。どうにかならないか？
- 職員 C) 予算の範囲内で手を付けていこうと考えている。

<生活環境の整備>

- 職員 B) 現在、公営住宅の建設は休止中。民間活力として民間賃貸住宅に補助金を出している。また、老朽建物解体促進では空き家を更地にして売買活性化を図る。その他、住宅取得、リフォーム促進奨励金を補助している。環境保全については課題である。太陽光発電補助金申請者がいない。使い勝手が悪い状態となっており、現在、企画財政課で再エネ計画の策定を進めている。使い勝手が良いものにしたい。環境衛生についてはペットの買い主への指導を広報に掲載して周知している。ごみ処理自然循環については皆様の協力でごみが少なくなっている。これからもリサイクルに出せるものは出して協力頂きたいと考えている。
- 委員 C) 太陽光パネルの補助金は理解している。蓄電池への補助金は考えているのか？
- 職員 B) 帯広市もやっているのだから考えてはいる。再エネ計画を策定して来年再来年に使い勝手の良いように変えていきたいと考えている。また町外の業者利用をすすめていかないといけないとも考えている。
- 委員 A) 現在の補助金の額は？
- 職員 B) 上限10万円と微々たるもので、パネルだけとなっている。蓄電池は高いので新たに補助ができればと考えている。
- 委員 C) 工事費込みで200万くらいかかる。買取価格が安くなっているのに、ソーラーパネルと蓄電池は一緒でないと意味がないと考える。
- 委員 C) 災害用にソーラーパネルはあるのか？昼間の電源として必要なのでは？
- 職員 A) ソーラーパネルは持っていない。ご意見として受け止める。

以上で、意見交換会終了となる。